

2. 現状や動向を踏まえた主な課題

(1) 町民アンケートからみる課題

町民アンケートでは、住環境で改善してほしいこととして「道路が狭い」、「歩道整備」など道路整備に関する意見や、「ごみの回収時間が短い」、「ごみ捨て場が遠い」などのごみ捨てに関する意見が多く挙げられていた。

道路整備に関する意見のなかでは、西軽井沢とまちなかを結ぶ道路についての意見がとくに多いほか、住宅が増えることによる自然の減少を危惧する意見や、公共交通機関の充実を望む意見もみられた。

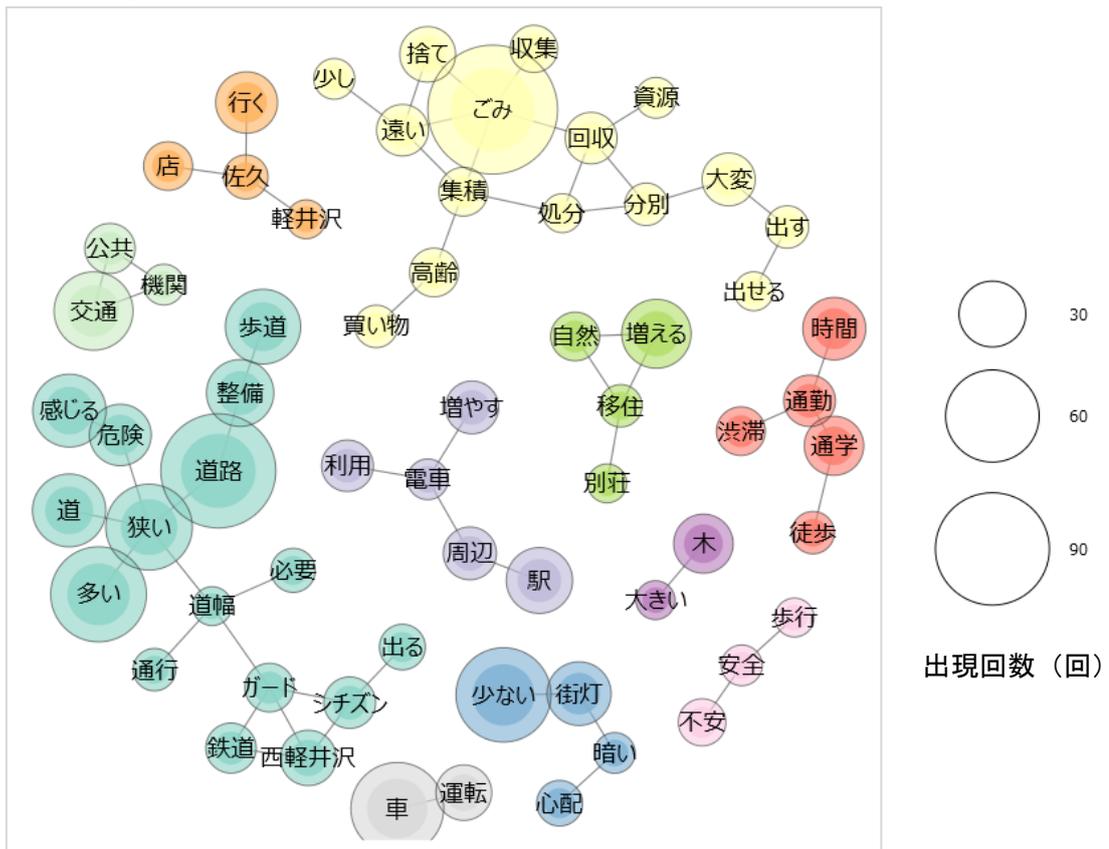


図 住みにくさ、住環境改善してほしいこととして挙げられた頻出語とその共起関係 (n=426、最小出現回数 10 回以上=63)

代表的な意見

■道路に関すること

- ・町道雪窓向原線（通称：シチズン通り）の高架下が狭く、通勤時間帯に混雑する。
- ・車道、歩道ともに幅員の拡幅などの道路整備が必要。
- ・街灯が少なく暗い。

■ごみ捨てに関すること

- ・ごみ捨ての時間が 30 分しかなく不便。
- ・ごみの分別が細かく大変である。
- ・ごみ集積所までが遠い。

■自然に関すること

- ・住宅建設のため、樹木の伐採がされている。自然の豊かさを維持してほしい。

■公共交通に関すること

- ・公共交通機関の選択肢、本数が少ない。

■買い物・店舗に関すること

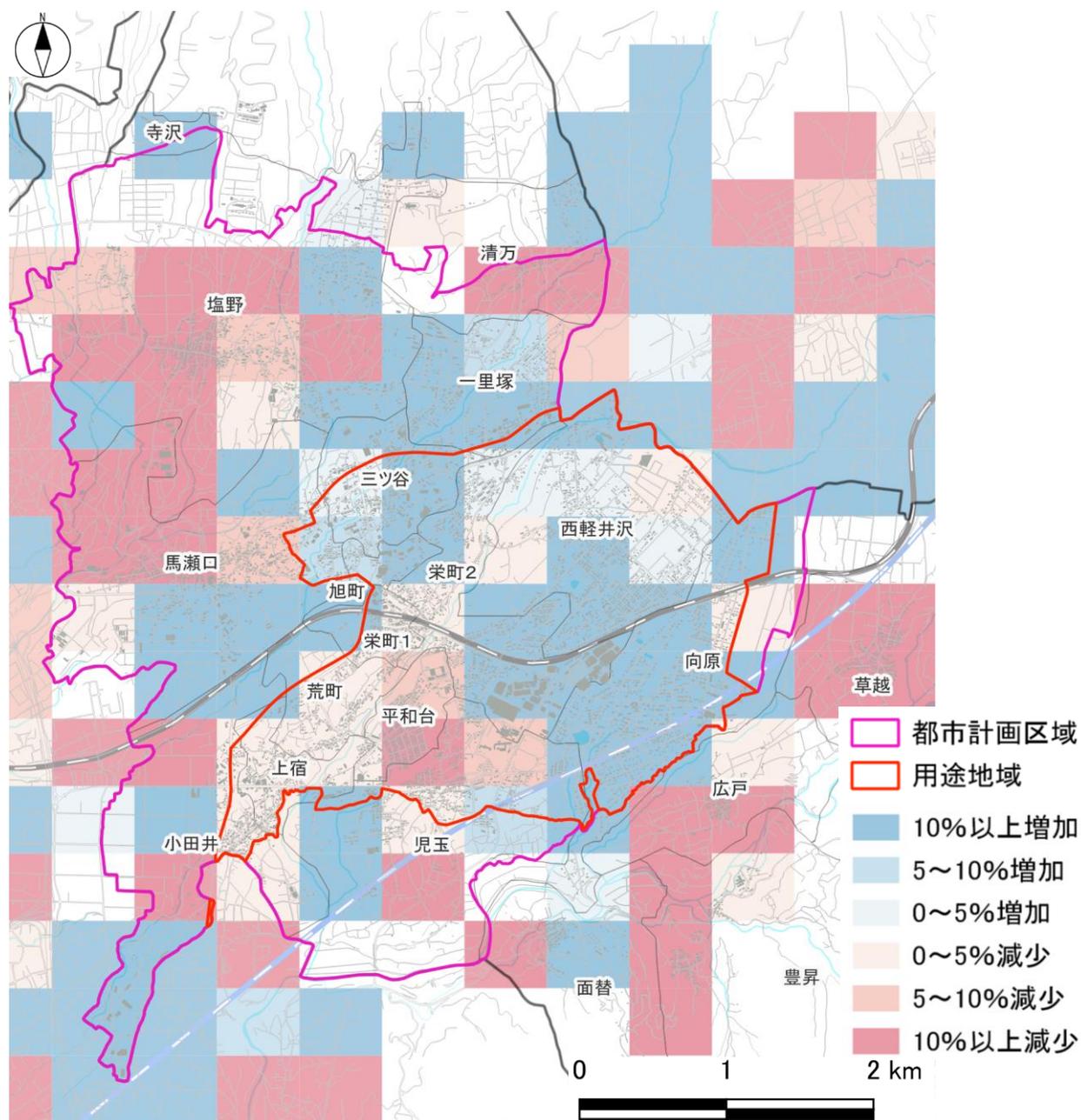
- ・お店が少ない。（商業施設、飲食店など）

(2) 町全体での適正な人口の受け入れと自然環境・地域コミュニティとの調和

① 人口増（流入）の適正な受け入れと人口減少集落の維持

直近の国立社会保障人口問題研究所の推計人口では、当町に隣接する佐久市、小諸市、軽井沢町が減少予測なのに対し、当町は県内でも稀な増加予測となっている。

地理的な人口動態をみると、用途地域内は軒並み増加しているが、用途地域外では南側の集落は増加傾向にあるが、北側の集落は減少傾向にある。



出典：2010年、2020年国勢調査

図 過去10年間（2010年－2020年）の人口増減率（推計）

表 御代田町及び隣接自治体の将来推計人口（2015年—2045年）

※2015年、2020年は国勢調査による実績値、2025年以降は推計値（▲：5年前比で減）
 ※最上段の2015年、2020年は御代田町住民基本台帳の実績値、2025年以降は、住民基本台帳の実績値からの推計値

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
御代田町 (住民基本台帳)	15,543	15,887	16,363	16,839	17,315	17,791	18,267
御代田町	15,184	15,555	15,567	15,606	15,563▲	15,381▲	15,094▲
佐久市	99,368	98,199▲	95,542▲	93,173▲	90,540▲	87,538▲	84,090▲
小諸市	42,512	40,991▲	38,986▲	36,987▲	34,881▲	32,624▲	30,326▲
軽井沢町	18,994	19,188	18,403▲	17,975▲	17,484▲	16,903▲	16,286▲

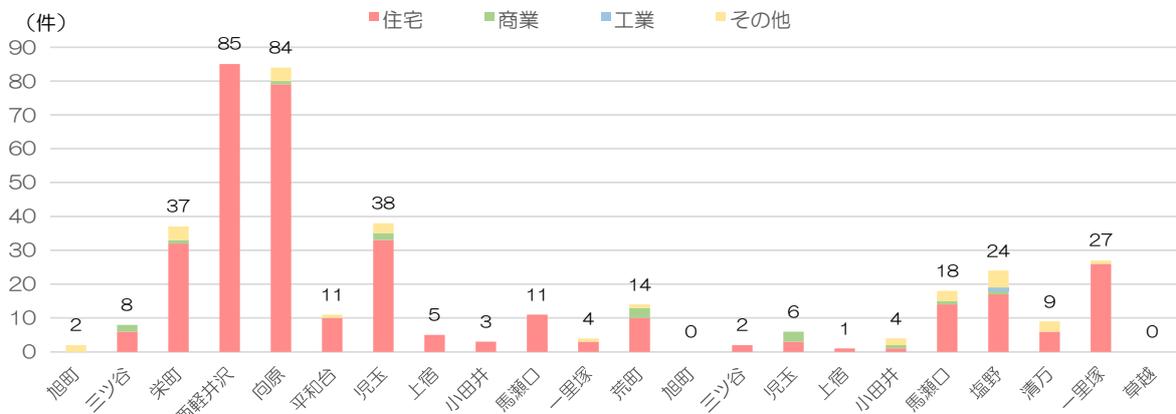
出典：国立社会保障・人口問題研究所
御代田町住民基本台帳

② 新築住宅の増加と自然環境や地域コミュニティとの調和

町民アンケートでは、移住者の受け入れには積極的であるが、自然環境や地域コミュニティとの調和の必要性を感じている人が多い。西軽井沢や向原などの別荘地での新築住宅が多いが、豊かな自然を魅力と感じている町民が多いため、住宅建設のために自然が減少することを危惧している人が多い。また、集落の維持を考えるうえで、移住者がうまく地域コミュニティに入れるようにしていく必要がある。

項目	回答率 (%)
受け入れは進めるべきだが、自然環境や地域コミュニティとの調和は必要	63.3
積極的に受け入れていくべき	20.7
わからない	9.1
あまり積極的に受け入れていくべきではない	4.1

図 移住者の受け入れに対する考え (n=738)



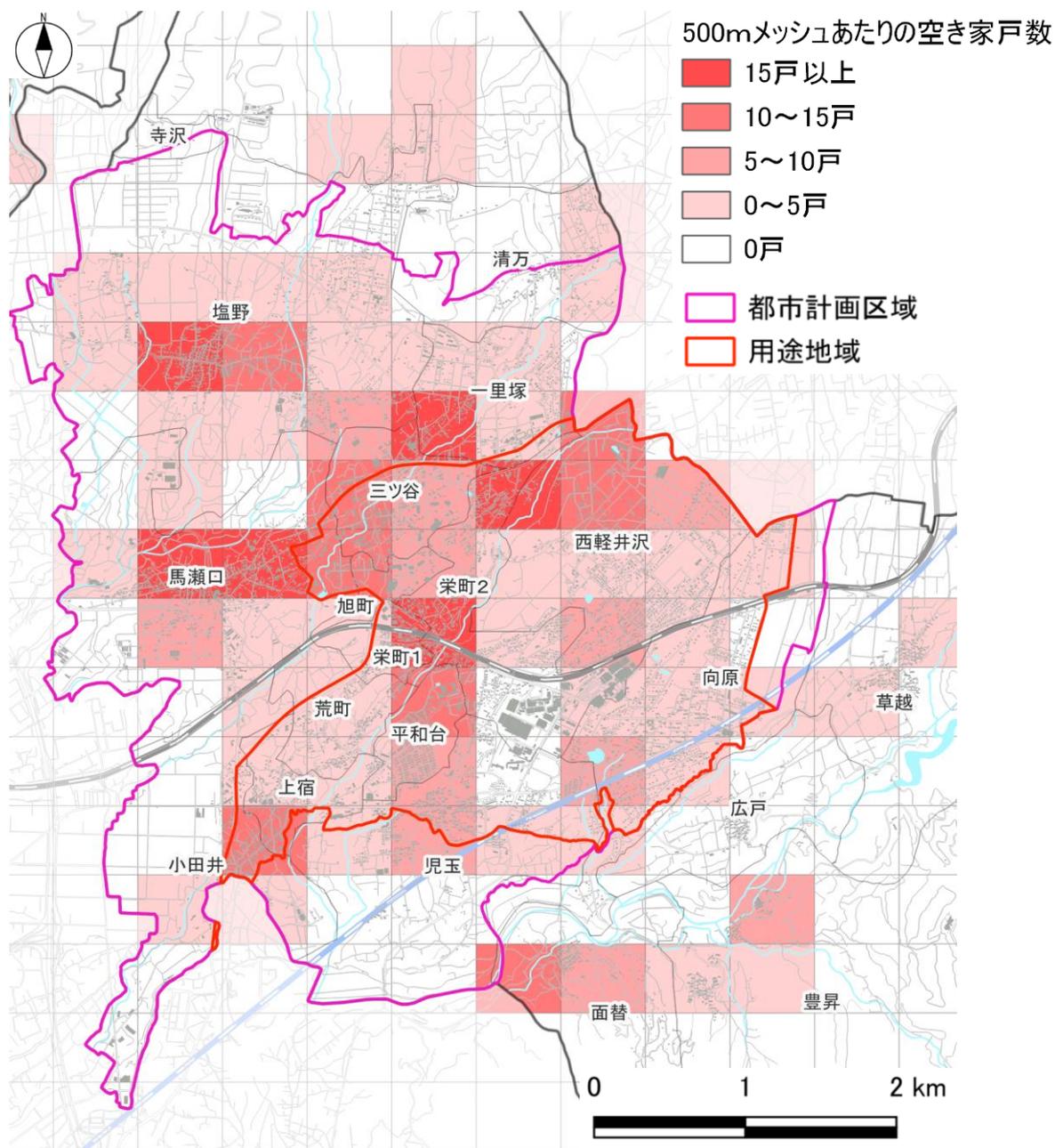
出典：佐久都市計画基礎調査

図 新築建物の地区別件数 (2016年—2020年)

(3) 低未利用地の適切な管理と有効活用

まちの中心部にも空き家が存在しており、駅前やその周辺部には空き店舗や空き地などの低未利用な空間も多い。“千年村”の集落内には維持管理が行き届かず老朽化の進んだ空き家も目立つ状況にある。

また旧街道沿いの住宅は、外観は比較的良好に保たれているものの、集落内には空き家も散見される。町民アンケートでも空き家などが放置されていることに対し、不安を感じているとの声や活用を望む声もある。



出典：平成28年度空き家実態調査

図 500mメッシュあたりの空き家の戸数



まちなかの低未利用地



著しく老朽化が進み空き家化している住宅

空き家や空き店舗、低未利用地に関する意見（町民アンケート）

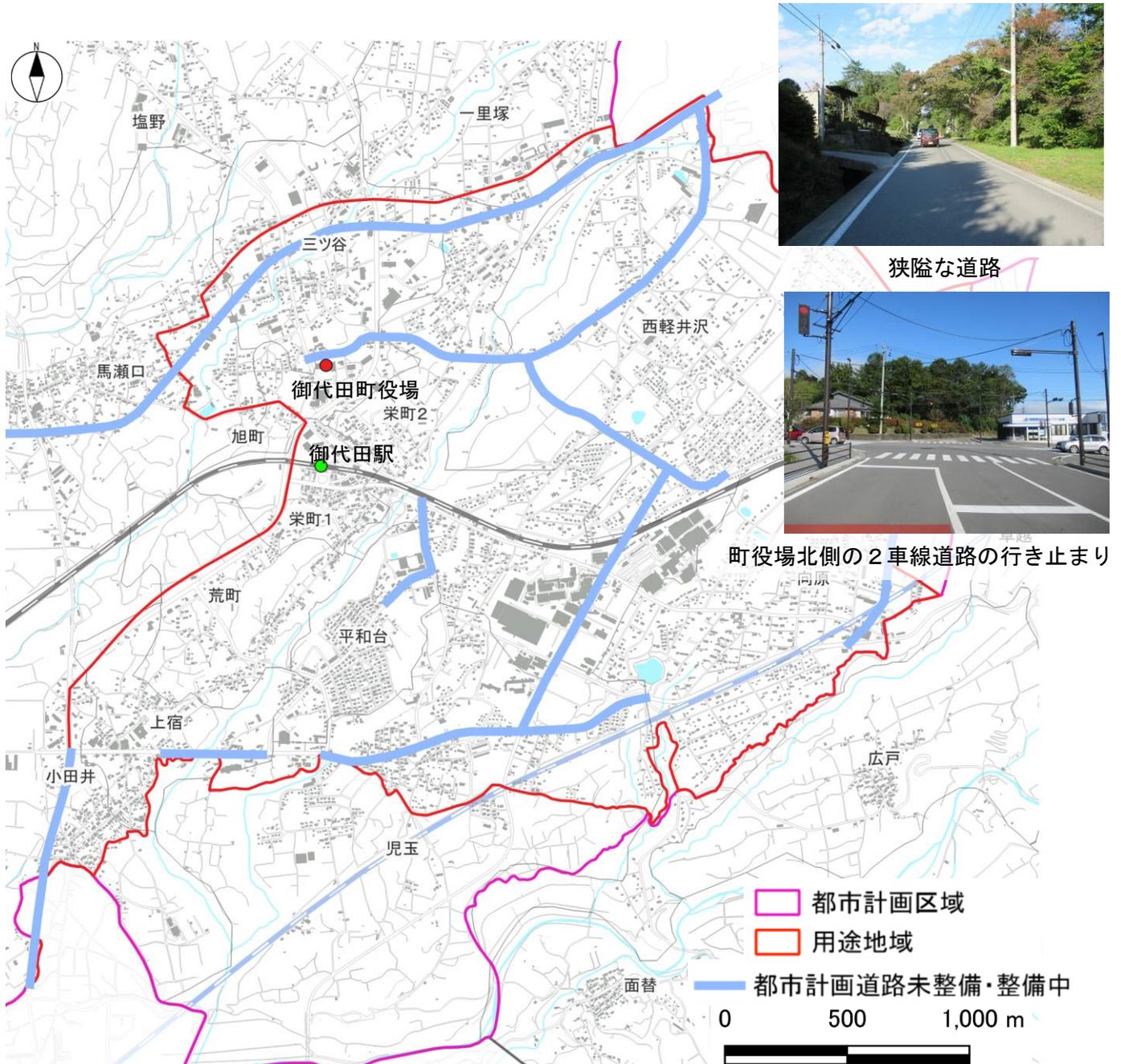
- ・ 隣近所に空き家が多く安全面などに不安がある。倒壊しそうな廃屋、草木や竹が伸びている。
- ・ 廃墟に近い空き家が散見され、衛生面、治安面で不安。
- ・ 空き家の紹介を移住者にしてほしい。
- ・ 空き家をリノベーションするなどの活用
- ・ 空き家を撤去し、空いた土地を再利用。
- ・ 未利用地、空き家、空き店舗が解消され、買い物や飲食が楽しめるまちになってほしい。

(4) まちなかの都市基盤の強化と既存ストックの多面的活用

① まちなかと西軽井沢間の円滑な動線確保

人口の多い西軽井沢方面とまちなかの中心部を円滑につなぐ動線が未整備であり、災害時の動線の確保が必要である。

町民アンケートでも西軽井沢とまちなかをつなぐ道路の整備を望む意見は多い。



出典：H26年度 町単独 東原西軽井沢線 概略設計業務

図 主な都市施設（道路・公園）の整備状況

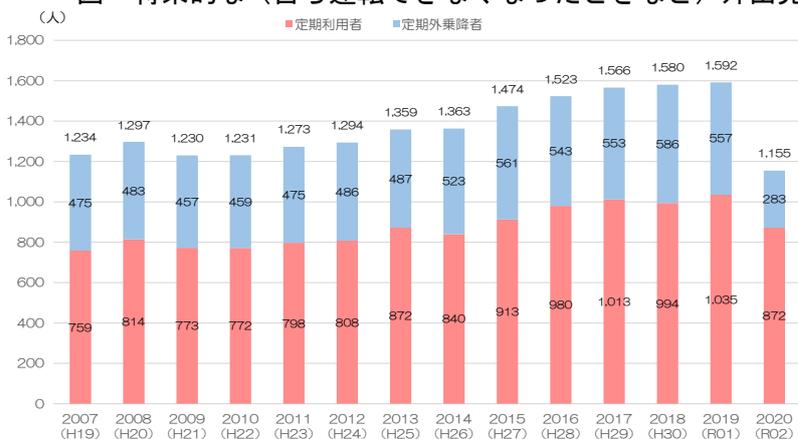
② 公共交通の充実と駅周辺の活性化

町民アンケートの結果から現在車利用が多いが、将来的な移動手段に不安を抱えている人は多く、公共交通の充実が望まれる。

また地域公共交通の拠点となる駅は、近年利用者が増加傾向であるものの、町民の半数以上はここ何年も利用していない状況にあり、周辺部も含め、交流の場としての活用やまちの顔として改善を図る余地がある。

項目	回答率 (%)
多少なりとも不安はある	87.2
鉄道やバス、タクシーなどの公共交通があるので、不安はほとんどない	3.4
マイカーで手助けしてくれる家族などがいるので、不安はほとんどない	2.8

図 将来的な（自ら運転できなくなったときなど）外出先への移動への不安 (n=738)



北側からアプローチできない御代田駅

出典：佐久都市計画基礎調査

図 御代田駅利用者数の推移

項目	回答率 (%)
週に3回以上	2.0
週に1、2回	0.5
月に1～数回	5.6
年に1～数回	36.3
ここ何年も利用していない	54.5

図 電車（しの鉄道）の利用頻度 (n=738) ※御代田駅で乗降

項目	回答率 (%)
魅力は感じているが、改善の余地はある	46.6
魅力は感じていないが、魅力的な場であってほしい（改善の余地あり）	35.6
いまのままでも問題ない	7.2
十分に魅力を感じている（現状のままでよい）	4.3

図 現状のまちなかの魅力や改善の必要性 (n=738)

③ 既存公園の利活用

まちなかや暮らしの場の近くに複数ある規模の大きな公園は、まちの魅力を高める空間として大きなポテンシャルを秘めている。町民アンケートの結果では、半数近くが「ほとんど・全く利用していない」と回答しており、有効活用が望まれる。

項目	回答率 (%)
週に3回以上	3.9
週に1、2回	6.1
月に1～数回	20.7
年に1～数回	22.8
ほとんど・全く利用していない	46.5

図 公園の利用頻度 (n=738)